



宮城県立名取支援学校

学校だより

令和5年4月10日

Vol.1

小学部 71名 名取が丘校 33名

中学部 50名 高等部 76名

計 230名



「変化に柔軟に対応する学校を目指して」

校長 菅原 信治

例年になく早い春の訪れとなりました。高舘山周辺の山桜も満開になり、木々も萌黄色になってきました。今年も生々みなぎる春が訪れました。

昨年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、様々な教育活動に制限がありました。児童生徒の感染状況によっては、学級閉鎖や臨時休業の措置をせざるを得ませんでした。保護者の皆様には、大変ご心配をお掛けいたしました。最近は新型コロナウイルス感染の状況も小康状態となり、全国的には With(ウィズ)コロナの社会活動を目指して、マスクの着用ルールやイベント開催時の感染対策の変更などもありました。今後、教育委員会からの通知により学習活動の変更等も考えられますが、学校では継続して感染拡大対策を講じて参りますので、ご家庭におきましてもご理解とご協力のほどよろしくお願いします。

さて、2023年4月1日に「こども家庭庁」が発足しました。スローガンは「こどもまんなか」。これまで、こどもに関係する政策はいろいろな省庁で別々に行われてきましたが、これからは「こども家庭庁」が政府のこども政策の中心になるようです。障害のあるこどもの支援もこども家庭庁の仕事になり、教育や医療・福祉といった関係機関とのやりとりが行われることになります。学校といたしましても、情報を収集しながら児童生徒の健やかな成長と安全で安心した子育てができるようお手伝いしていきたいと思えます。

また、同時に「こども基本法」も施行されました。こども基本法は、日本国憲法および児童の権利に関する条約(※)の精神にのっとり、全てのこどもが、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指し、こども政策を総合的に推進することを目的としています。※児童の権利に関する条約、子どもの権利条約(外務省やユニセフのホームページに詳細がございます。)

昨年度に引き続き新しい時代、新しい学習指導要領のもと、社会の変化や時代に対応した教育課程・教育内容を検討し研究・実践してまいります。これから始まる児童生徒一人一人のかけがえない学校生活を、私たち教職員は全力でサポートしていきます。保護者の皆様にも引き続き本校の教育活動に対しましてご理解とご協力をお願い申し上げます。

以下、今年度の学校教育目標等を紹介いたします。

1 教育目標

児童生徒一人一人の心身の発達、能力・特性に応じた教育を行い、その可能性の伸長に努め、健康で人間性豊かな人間の育成を目指す。

2 学校経営方針

教育公務員としての崇高な使命を自覚し、絶えず研究と修養に励み、教職員相互の信頼を基盤に、将来の自立と社会参加へ向けた心身共に健やかな児童生徒の育成と、魅力ある学校づくりのために、全力を挙げて職責の遂行に努める。

3 重点努力目標

- (1) 学習指導要領を踏まえた教育課程の検討と実施
- (2) 専門性と指導力の向上と働き方の見直し
- (3) 保護者や地域・関係機関との協力・連携の強化
- (4) 安全・安心な学校づくり

